会　議　録

会議の名称	第３回中野市総合計画審議会
日　時	令和７年８月 18 日（月）　15：00～16：03
会　場	中野市役所　会議室 52・53
出席者等 （敬称略）	・委員：16 名 有賀　透、増田善行、土屋武俊、阿部ひろ美、平野正隆、徳竹佐織、酒井　久、畔上忠治、小澤美津惠、髙山定紀、岡田哲也、山田彰一、江原宏晃、沼田拓也、三森和子、小林正二 （欠席委員：３名　塩野谷亮子、望月隆、間峠未希） ・市出席：４名 総務部長　栗林淳一、企画財政課長　阿藤博之、企画財政課長補佐　町井雅之、担当・仲條光裕　計 20 名
次第	１　開会 ２　あいさつ ３　会議事項 ⑴　基本構想（素案）について《資料１》 ４　その他 ５　閉　会
発言内容	別紙のとおり

【別紙】

第３回 中野市総合計画審議会

１．開会（15：00）

２．あいさつ

山田会長	・委員の皆様方には、大変ご多用の中、第３回中野市総合計画審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。 ・前回の審議会では、基本構想（素案）について市長からの諮問を受け、内容をご審議いただいたところです。 ・基本構想（素案）につきましては、本日の審議会の結果を受けて、明日、私から市長へ答申を行う予定でおります。 ・本日は、委員の皆さまからのお知恵をお借りし、答申に向けて案を固めていきたいと考えておりますので、皆様には格段のご協力をお願いすることを申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

３．会議事項

⑴ 基本構想（素案）について《資料１、参考資料１、参考資料２、参考資料３》

・資料１に基づき事務局から説明

事務局	・本審議会の議題に入る前に、1 点お詫びを申し上げたいと思いますけども、本審議会の開催通知につきましては、中野市総合計画審議会条例第 5 条の規定に基づき、会長名で通知するところでありましたが中野市長名でこれまで委員の皆さんに通知をしておりまして、大変申し訳ございませんでした。今後このようなことがないように気をつけていきたいと思います。 ・それでは本日の資料については担当係長の方から説明をさせていただきます。
事務局	・初めに、添付している参考資料の説明をさせていただきます。参考資料 1 をご覧ください。 ・こちらは、7 月 14 日から 8 月 7 日まで実施したパブリックコメントでいただいた意見をまとめたもので、19 名 20 件のご意見を頂戴しました。 ・中身については、ほとんどが今回の基本構想に対するものではなく、基本計画の方に盛り込むことが適当である内容がほとんどでありました。 ・次に、今回お集まりの委員の皆様からいただいたご意見について、参考資料 2 と 3 でまとめております。 ・参考資料 2 につきましては、今回、市から審議をお願いしております基本構想（素案）についてのご意見をまとめたものです。 ・また参考資料 3 につきましては、審議会の進め方等についてのご意見をまとめたものでございます。 ・それでは参考資料 3 をご覧ください。 ・A委員からの質問の一つ目について、資料に記載のとおり、7 月 2 日に開催

事務局	された中野市議会全員協議会で、今回の基本構想案について説明して参りました。 ・その際に議員の皆様からいただいたご意見としましては、「土地利用の高度化」、「コンパクトなまちづくり」といった言葉の意図の確認ですとか、パブリックコメントの期間、方法についての確認がありました。 ・また、農業の後継者の育成、また高社地域の土地利用について、ご要望をいただきました。 ・それでは資料１の「第３次中野市総合計画基本構想（素案）」をご覧ください。 ・基本構想（素案）につきましては、市の職員で構成する庁内策定委員会で作成した素案について、市長から本審議会に諮問させていただき、委員の皆様から本素案に対するご意見を頂戴するとともに、あわせてパブリックコメントで市民の皆様からも多くの意見をいただいております。 ・その意見を反映させた部分が赤字になっておりますので、順に説明します。 ・5ページをご覧ください。 ・これまで「定住環境」としておりましたが、Ｂ委員、Ｃ委員の御指摘から、「移住定住・住環境」といたしました。 ・次に6ページをご覧ください。 ・基本政策 1 の課題の欄について、Ａ委員のご意見から、人口減少の切迫感がないというご指摘をいただいておりますので、冒頭に「急激な」という文言を加えて、少子化がさらに進んでいることを強調いたしました。 ・またその下、社会性という言葉の後に「国際性」という言葉を加え、グローバル化の観点を加えさせていただきました。 ・次に7ページをご覧ください。 ・基本政策３の課題の欄について、１行目、新たな産業の創出とありますが、変更前につきましてはその前に、内発的なという文言がございました。 ・これについては、内発的なものではなく企業誘致なども含め、新たな産業の創出をするという意味のもと「内発的な」という文言を削除しました。 ・次に8ページをご覧ください。 ・基本政策 5 の表題の部分でありますが、括弧書き、E の部分、先ほど 5 ページ目のところで説明しましたとおり、「移住定住・住環境」という表現に改めました。 ・あわせまして課題中、1項目を追加いたしました。 ・その下の大綱の欄中 3 段目でございますが、わかりづらいというパブリックコメントのご意見から、コンパクトでという表現をしておりましたが、

事務局	より具体的な「循環型社会の構築」という表現に変更いたしました。 ・次の段落の公共交通についてですが、これまでの公共交通の利用促進としてきたところですが、パブリックコメントにて、公共交通の「利便性の向上と、運行コストの削減」に変更してはどうかとご意見をいただきました。 ・この部分につきましては現在地域公共交通計画におきまして、公共交通の「維持」としておりますので、その計画と整合を図るというところで、「公共交通の維持および運行コストの削減」とさせていただきました。 ・また最下段について、「移住・定住・交流・関係人口の拡大」について明記をしております。 ・次に 9 ページをご覧ください。 ・D委員からのご意見から、AI を始めとする DX の推進について追加いたしました。 ・次に 10 ページをお願いいたします。 ・第 4 章、土地利用構想第 1 節の部分でございますが、最下段、これまでは「土地利用の高度化やコンパクトなまちづくり」としておりましたが、こちらもわかりづらいという御指摘がございましたので、「集約型都市構想（コンパクト+ネットワークのまちづくり）という表現に改めました。 ・次に 12 ページをお願いします。 ・第 4 節地域別土地利用の基本方向についてでございますが、一番下の項目、豊田地域についてでございますが、定住を促進するためという表現がございましたが、定住促進については豊田地域に限らず、全市的に推進するものであるため、削除させていただきました。 ・参考資料 1 に基本構想(素案)の修正を反映した意見を■で表しております。 ・また、その他のご意見は〇で市の考え方をお示ししております。 ・今回の資料 1 でお示しした、修正した基本構想（素案）につきましては、あくまで皆様の意見を参考に事務局で修正をした案でございますので、どのように採用し、修正するかにつきましては、皆様にご審議をいただきたいと思います。 ・説明は以上であります。
山田会長	・ただ今の事務局の説明に対し、ご意見、ご質問がある方は。
A委員	・第 3 次の審議の前に、今説明がありました条例の件、この条例は変えるのですか。 ・私どもは今までは総合計画と思っていたのですが、基本計画、国土利用計画等、新しい言葉がでてますよね。 ・これらに対して、よくわからないが、どのようになるのですか。

事務局	・計画審議会条例の基本構想、基本計画と国土利用計画についての記載についてですが、現在は基本構想（素案）の審議をお願いしております。 ・その基本構想が策定されましたら次は基本計画の審議をお願いしていく予定でございます。 ・ということでこの条例の改正等については考えておりません。
A委員	・今のような話は、おかしいと思います。今までは総合計画で来ていたわけですよね。それがいきなり、具体的な項目まで入ってきている。なぜ今頃、出てくるのですか。 ・なぜ同じ資料が、毎回配られるのですか。本来条例だから、一度配布しておけばそれで済むはずですよね。
事務局	・総合計画審議会条例の趣旨の説明をさせていただいてるのは、公募委員を始めとして、初めてこの審議会に関わる方もいらっしゃるということで、この審議会はどういう内容のものかということを常に説明をしたり、確認をいただいた上で審議をしていただきたいからです。 ・あと総合計画を構成する計画として基本構想、基本計画等の計画が入っており、この条例案自体については以前から当然あるものであります。
A委員	・確かに基本構想というのは第 3 次総合計画基本構想と書いてありますから、基本構想イコール総合計画だというふうに認識していたのですが、それは間違いということですか。
事務局	・まず基本構想の審議を現在お願いしているところであります。 ・これが審議を終えて、9 月議会に上程をして基本構想の決定をいただければ、次に基本計画についてご審議をいただいていく予定でございます。
A委員	・条例に書いてあるものは、基本的に全部やっていくということなんですか。
事務局	・審議会の設置している目的に記載されているとおり、当然審議会なので、市長から諮問を受けた内容についてご審議いただきたいということです。
A委員	・そういうことであれば、きちっと最初のときに説明してもらえるといい話ですよね。 ・前回の審議会で市長からの諮問があっても、それで解散になりましたよね。。 ・せっかくのみんなが集まった機会を無駄にしちゃって、何もされてないですよね。
事務局	・前回も説明させていただいて、質問と意見の時間を会長の進行の中で十分取らせていただきました。ただ効率的に行う中で、今日も参考資料 2 のようなかたちで進めてきている。 ・参考資料 2 等にも各委員さんからのご意見を十分に書面で書かせていただいて、先ほど説明したとおり、基本構想の素案の中、赤字で十分盛り込んでいるということであります。
山田会長	・皆さんに事前にお配りして見てきていただいたと思いますので、それに従って一つご意見をいただきたいと思っているのですが。
A委員	・もう一つ。第 4 条、会長は 1 回目のときは多分中野市長か何かの招集状でよろしいですよね。

	・多分第１回目の審議会で会長が選任される互選されるわけですよね。 ・だから２回目以降は、会長が通知を出すということでしょう。
事務局	・それが会の冒頭、私の方からお詫びさせていただいて、条例でも定められているとおり、本来であれば会長名で、会長が決定した以降は会長名としなければいけなかったところ、うちのミスで大変申し訳ございませんでした。
A委員	・それにしても、それだけでは不十分だと思いますよ。 ・結局、第１回目の審議会というのは、市長が招集でもいいですけども、そこで初めて会長が互選されて、会長が決まるわけですよね。 ・だから、本来それは審議会でも何でもないんだよ。
事務局	・わかりました。いずれもこれ、A委員が言っているのは市全体の審議会の進め方なり審議会におけるスタンスなり、やり方にも影響する話なので、本日は皆さんには総合計画審議会の委員をお願いしていることからも、まず基本構想の審議を優先させていただけたらと思います。
A委員	・審議が優先される、審議は構いませんけどね。 ・この件は忘れてはいないでしょうねということですよ。改正が必要だということなんですよ。そういう認識があるんですか。このまま改正も何もしないでというか無理がありますよ。
山田会長	・A委員、すみません、ご意見として現時点ではお伺いしておきます。
A委員	・意見として伺うのはいいが、そういう質問が出ていることに対して、どういった対応をしようとしてるのかということですよ。 ・まずお詫びするべきだと思うのですが、詫びを入れたら終わりで済む話じゃないでしょう。 ・変えるところは、別に変えても問題ないじゃないですか。悪いところは変えたらいいですよ。
山田会長	・はい、ご意見として伺うようにいたします。 ・次に、本来の構想案につきまして、ご意見がある方。
A委員	・もう基本構想の内容に入っているのですか。
山田会長	・最初から入っています。
A委員	・基本的にこの総合計画というのは、2ページ目にありますようにその全体の流れを決めるものですよね。 ・本計画で、「市の立場で読むと行政の資源をどのような理由で何に投入し、成果を上げるためにいかに取り組むかわかるように記載されています。また、市民の立場で読むと、何を目指して、必要なのかわかるように記載されており、まちづくりの羅針盤として……」と書かれています。 ・ここのところで基本的には市と市民のニーズは一緒です。 ・なぜわざわざ市の立場、市民の立場とやっているのですか。 ・一番深刻なのは、人口減少で、ちょっとそれは国がなくなってしまうような、そういうリスクもあるわけですよね。 ・だからそういうものに対して、戦略的にどういう話かと、例えば「急激な」が環境変化なんて、「急激だ」といったところで、その何の役にも立たない。

	・どういう対応して、アクションを結びつけていくかということが大事なわけですよ。 ・それについては一つも書かれていない。財政、将来の財政の様子がわかるような紙１枚の説明もないですよね。 ・それで本当に戦略性ということで市民にわかってもらえるんですかね。 ・私はわかりません。私も一市民ですけれども、全くわかっておりません。
事務局	・人口減少については当然、相当危機的に感じております。 ・その他の意見については、これまず基本構想でありまして、具体的な政策等なりもう少し踏み込んでいくのは、基本計画、実施計画、その他予算等もあります。 ・基本構想の次はいよいよ少し深掘りをしていく基本計画に入っていくという流れになっていきますので、具体的なご提案等については、基本計画の際にご意見を聞いていきたいと思っております。
A委員	・１番はじめの趣旨の部分で、総合計画は何のためにあるんだという目的が語られてないとおかしな話ですよね。 ・それをベースに基本計画、詳細計画ね。進んでいくわけですから、ここで戦略性がどうのこうのというのは全然無視されたような話になっていてね。 ・もうおかしな話じゃないですかね、と私は思います。
事務局	・総合計画の趣旨については記載の通り 2 行目のところに、全ての政策を網羅した市の最上位の計画であるということでございます。
A委員	・どなたかの意見にもありましたけど網羅的になるのは仕方がないと思います。だけど、戦略性という言葉から言うと、財政人口が減って、財政が厳しくなっていくとき何を優先するんだという優先度がね、全く語られてない。 ・だからあるべき姿をね、なんかＮＮの 1 から 6 まで上げておられますけども、それはあくあるべき論だからあるべき方向を図るべきですよ。 ・だから戦略性に基づいて次なんていうか、重要度をね、判定してどうのこうのということは全然語られてないじゃないですか。 ・あるべき論姿を上げているだけで。 ・どういう順序でやっていくのか、そういう意味で私はこの政策案は、作り直しだなというふうに思っております。
事務局	・あるべき姿については、現在審議している基本構想で、資料の 3 ページにあるとおり、②基本計画、③の実施計画ということで、予算も含めた事業内容等が具現化されていくということで、現在はあるべき姿ということで基本構想のご審議をいただいているということでございます。
A委員	・基本的に、大まかなことを言って細かい方向に入っていくのは、これは当たり前の計画ですよね。 ・とにかくそこに戦略性道筋という言葉をつけているのだから、毎年の財政の結果を、議会に報告してどうこうという話じゃとてもじゃない、対応ができてないと思います。
山田会長	・ご意見として伺います。

A委員	・意見として伺うという話だけじゃなくて、実際に議論していただきたい。
事務局	・この場での議論も当然ですが、いただいた意見等については庁内の検討委員会なりで検討していきますし、本日出た意見、前回出た意見も含めて、山田会長の方からも、市長の方に答申していく中でしっかり伝えて、庁内で検討していくということでございます。
A委員	・時間が差し迫ってるように思いますよ。今日の審議会が終わったらまもなく、市長に答申されるというふうに会長がおっしゃられけど、本当にまとまるんですか。 ・他の皆さんからも出た意見を見ると、とてもそんな中、簡単に収まるとは思えないですけどね。 ・例えば美術館の話でも、人口が減って財政が厳しくなっていく中で、それは本当にいいのかなと。 ・それともう一つ、前回の審議会のときに配られた参考資料 1 で、人口の見積の話がありますよね。そこでは 2033 年の人口予測は、37,500 人以上となってます。 ・だけど、その参考資料を見てみると、2030 年から 2035 年の予測値ですよ。実績値でも何でもない。 ・こんな馬鹿な話ってありますか。実績ならまだしもね。 ・将来、人口はどんどん減っていくか、まだ本当にそうなるかどうかわからない。おかしい話だと思いますよ。
事務局	・いやそれは人口推計のときにしっかり説明させてもらいましたが、国立社会保障・人口問題研究所等々の内容、根拠に基づいて出しているのであって、単純に 5 年だから 5 で割っているからこの数字になっているわけではありません。前回その根拠をしっかり説明させていただきましたが、いかがでしょうか。
A委員	・実績だったら別ですよ。 ・将来どうなるかわからない状態の予測値推定値をもとに、するのはいかがなものか。
E委員	・予想・説ですから、いろいろな仮定がありますから、どの説をとるか、5 年、10 年、15 年で話したら、それは様々あるので、そのことをいちいちここで取り上げて議論することはおかしいと思います。
A委員	・でも、そういうことを議論した上でないと、諮問結果が出せないでしょう。
E委員	・それは議論してできる問題ですか。
A委員	・議論で基本的にはある程度できると思いますよ。 ・あともう 1 点、ここに委員の名簿がありますけども、私はここでおかしいなと思うのは……
山田会長	・はいすいません、委員の問題までいってしまうと、本題と違う方向へ行って、どんどん他に話題を変えますと、まとまらない。 ・本題の話だけで一つ今日はお願いしたいと思います。 ・他に何かご意見ございますか。

A委員	・本題について一言言わせていただくと、意見の中に美術館の話がありますよね。 ・美術館は、確かにあるにこしたことはないと思う。 ・だけど、人口が減っていく中で、支出をどうやって工面していくかという議論、そういう話が全然読み取れないですよ。 ・それで本当にこの総合計画はいいのかと言われたら、会長、どういうふうに返事をしますか。
山田会長	・美術館一つの問題にとらわれると、ここで審議するのは違うと思います。 ・議会あるいは行政等の中で議論していく問題だというふうに思いますので、美術館が良いか悪いかは、個々に他の時点で議論をしていただいて、美術館そのものはこの基本構想に盛り込まないので、ここで議する問題ではないと思います。
E委員	・やはり限られた時間の中で審議をしていく中で、その話だけをしていたら、全部流れていってしまう。 ・ですから、もう少し全員が均等に入り、同じ様な立場でお話をさせていただければと思います。 ・最初の基本構想を事務局から出していただいて、具体的にその一つ一つに対してここで議論をしてしまったら、多分この会はまとまりがつかないと思うんですね。
A委員	・私が 1 人喋りすぎたというのは確かにね。はい、その通りだと思います。それというのは、皆さんから意見が出ないからですよ。 ・こういう議論を踏まえた上でないと話ができないですよ、結論は出ないじゃないですか。出ますか。
E委員	・いや、具体的私が思っているのは、最初の基本構想というのを出していただいて、この中の具体的にそれをどうこうするかについては、まだその行政とか様々な議会とかの問題があるので、中野市としての要するに報告としてはこういうものがある。 ・その一つ一つに対してここで議論をしてしまったら、多分この会はまとまりがつかないと思うんですね。
山田会長	・人口問題、これは将来はっきりとした数字っていうのは今わかりませんけれども、ある程度基本的な題材において、将来の人口というものも数値を出して、それに基づいていろいろ行動をとっていかないとこれは全て始まらない。 ・ですから、推計人口は大きく外れるかもしれませんが、例えば今の子どもの出生の状況、子どもの人口から 20 年後はどうなってるというふうな、ある程度の基本的な構造は分かる。 ・あるいは国のいろんな機関での人口の将来の数値の出し方、そこに基づいて人口というのを出す。 ・それに基づいていかなければこれ物事は進んでいかないというふうに思いますので。

	・ただ将来何が起こるか分からない、それが間違ってるってことになるかもしれない。ただ、数値を出していって今、将来のことを考えていかなきゃ進まないということですので、将来何になるかは、これはわかりません。 ・だけども、基本的に考える一つの観点、基本計算のもと、こういうものがありますので、そういうことを基本に置いていかなければ、人口問題は、いろんな問題が解決できないというふうに思いますんで、そういうことで一つご意見をいただきたいというふうに思います。 ・他に何かご意見ございますでしょうか？
Ｃ委員	・一応今、会長さんにおっしゃっていただいたとおりかと思いますけれども、今Ａ委員がご心配されている人口推計とかは、将来の方向性はわかりませんけどベクトルとして減っていくっていうことは皆さん共通の認識として持っていただく必要があるのかと思います。 ・どの程度減るのかっていうのは、実際その時々でわかりませんけれども、国の研究機関が公表しているものを参考に推計すると、こういったことが考えられるっていうことで、市の方でお示しされたのかと思いますので、我々とすると、それを踏まえてこの中野市が今後どういうところを目指して行政とか、それぞれ民間事業者とかそれぞれの立場で進めていくっていうことを目指せばいいのかっていうことを、市の方のこういった基本構想ということで素案を示していただいたので、そういったことの、市民がどういったまちを目指していくのかっていうことを建設的に意見を出す場にしていただければよろしいのではないかと思いまして。 ・再度ご確認いただければと思うのですけど、今回は全体の総合計画の中に基本構想と基本計画と実施計画というのがそれぞれわかれていて、今回はその基本構想ということですので。 ・基本構想は、具体的に何をどうするっていう具体的な施策が出てくるものというよりかは、ちょっと理念的な部分、抽象的な部分が出てしまうかもしれませんけど、この市が将来どんなところを目指していくのかという共通認識を持つためのものなので、ちょっと抽象的な言葉になってしまうのはある程度やむを得ないのかなと思っております。 ・そんなご理解でよろしいかどうか、ちょっと再度それぞれのこの構想とか実施計画とかに書くべきものとかをちょっと説明していただくと、わかりやすいのではないかと思いますので、お願いできればと思います。 ・よろしいですか。
Ａ委員	・よくないです。 ・今Ｃ委員から話がありましたけども、基本的にどういう認識をするかということについては、人口減少とか地方創生の話とか全部関係しているわけですよ。 ・だからそういう中で、人口減少に至った理由、例えば縄文時代は狩猟生活だからだし、天候とか寒冷化とかによって、実がならなくなれば、それは当然人口が減ります。

	・結局どんどん稲作技術が発達して、弥生時代も含めて、だんだん増えてきましたよね。 ・だからそれは、その社会の持つ実力というか生産性を超してしまっているんじゃないかなというふうな懸念があります。
山田会長	・その辺は国、世界の話であって、ここで議論しているのは中野の問題であって、中野の人口は、それはさっき説明したような数値で出して、それに基づいて中野はどうするかということで議論してもらうということでございますので、その辺のことでご意見をお願いしたい。
Ｆ委員	・一つよろしいですか。 ・いろいろね、思いがあって言ってらっしゃることもよくわかるんですけれども、私、教育委員会の関係でこちらの方に委員として出させていただいてるんですけれど、この「緑豊かなふるさと　文化が香る元気なまち」。 ・こういう中野市を目指すんだっていうことで、みんなでやっぱ一丸となって、中野市を盛り上げていかなきゃいけないと。 ・私は学校の校長をやって、退職していろいろやっているのですけれども、子どもたちが中野市いいなと。一旦は都会、大学にいって、外に出るけど、それでも戻ってきて、この地域を担って、「この地域がもっと発展するように頑張ろう」って、そういう子を育てようと思ってるし、もしかしたら商工会議所の方とか農業の方とかいろんな方は、この中野に住みたいんだと。 ・移住して、この中野市で一生懸命働いて、この町で頑張るんだって、そういう方を増やしたりすることによって、また人口というのもね、変わってくると。 ・みんなで協力して、そういう中野市になるように頑張ってやっていくっていうことが大事であって、今その人口が減るから、どういう根拠があるんだとかって、そういう理論は、申し訳ないけれども個人の考えはいいとして、もっと全体としてみんなで中野市盛り上げていこうと、こういう中野市にしましょうという、そういう気持ちでやっていかないと、話がまとまっていかないような気がするんですけれども、いかがでしょうか。
Ａ委員	・確かにね、そういうことですよ。だから、中野市民が一致して、何とかしていこうということが大事なわけですよ。 ・例えば今、１学年何人なのか……
山田会長	・そこまで話がいっちゃうと、議論にならないので。
Ａ委員	・大事な話なんだよ。
山田会長	・いえ、この辺で一つ。他にご意見はありませんか。全体的な意見で。
Ａ委員	・じゃあ、全体的な話をします。 ・先ほど中野市の人口減少についてということで、日本の地方もそうですし、都会でもそうですよね。東京でも人口が減っていくんですよ。国連の調べでは、世界人口が減っているんですよ。
山田会長	・はい、そういった議論は、いろいろなところでされてますもので。
Ａ委員	・だからそれで、中野市としてどうするんですかって、こういう話ですよ。

山田会長	・いかがでしょうか。
Ｅ委員	・総合計画審議会で人口問題を議する会ではないので、あとでじっくりお話を賜りたいと思いますけれども、この場はやっぱり違うと思います。
Ａ委員	・それは確かにその通りだと思います。 ・だけど、その１ページ、２ページ目の趣旨のところで、この計画がわかりやすい計画であるとかね。戦略性、戦略的だとか言われてるんです。だけど本当にそうかなという話を、議論していただきたいということです。 ・あと総合計画が最高位の計画だと言いながら、その最高位ってさきに、何がぶら下がってるんですかっていうことすら書いてない。
山田会長	・はい、すいません。なんか話がどんどんどんどん、おかしな方向へ行っちゃいますもので。 ・とりあえずここで、この基本政策、今日提示されております基本政策１から６について、ご確認いただいて、ご意見があったらお願いしたいというふうに思います。 ・これでよろしかったら、取りまとめたいと思います。
Ａ委員	・私は反対します。
山田会長	・それではＡ委員以外の方は、いかがでございますか。よろしいでしょうか。 ・ありがとうございました。それでは１名反対という形で、他の方は賛成いただいたということで、本日のところは取りまとめて、後の細かいところはまた、他のところでいろいろ議論をいただいて、より良い中野市になるように皆さんの力でこれからの総合計画がこれに沿っていけるようによろしくお願い申し上げたいというふうに思います。 ・それでは、本日のところは議論も尽きませんけれども、いろいろございましたけれどもこれで終了させていただきたいというふうに思います。 ・私も議長の職を降りさせていただきたいと思います。（拍手）

４　その他

事務局	・ありがとうございました。それでは本日ご審議いただいた内容につきましては、明日、山田会長から市長の方に答申をさせていただく予定です。 ・本日特に、参考資料２で各委員からいただいたご意見等や、この委員会で直接いただいたご意見等についても、基本計画のところで、深堀りしていかなくちゃいけないところでありまして、本日までは理念の関係だったので、このような委員会の進め方になってます。 ・基本計画からは、より数字だとか、細かい内容を見て具現化していかなくちゃいけないので、引き続きご理解ご協力をお願いしたいと思います。 ・事務局からは以上です。
小澤副会長	・以上をもちまして第３回中野市総合計画審議会を閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。

５　閉　　会（16：03）